

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公開番号】特開2002-105150(P2002-105150A)

【公開日】平成14年4月10日(2002.4.10)

【出願番号】特願2001-219344(P2001-219344)

【国際特許分類】

C 0 8 F 291/02 (2006.01)

C 0 8 J 3/20 (2006.01)

C 0 8 L 51/00 (2006.01)

C 0 8 L 57/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 291/02

C 0 8 J 3/20 C E R Z

C 0 8 L 51/00

C 0 8 L 57/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月12日(2008.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】ゴム質重合体により強化されたスチレン系共重合体の樹脂組成物において、該樹脂組成物中に含まれるアセトン可溶性樹脂成分は、芳香族ビニル系単量体 (a 1) 5 ~ 70 重量%、不飽和カルボン酸アルキルエステル系単量体 (a 2) 30 ~ 95 重量%、シアン化ビニル系単量体 (a 3) 0 ~ 50 重量%及びこれらと共重合可能な他の単量体 (a 4) 0 ~ 50 重量%からなる単量体組成を有するものであり、かつ、アセトン可溶性樹脂成分の酸価が 0.01 ~ 1 mg KOH / g であることを特徴とするゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項 2】アセトン可溶性樹脂成分を構成する芳香族ビニル系単量体 (a 1) と不飽和カルボン酸アルキルエステル系単量体 (a 2) との重量比 (  $\frac{ST}{MMA}$  ) の組成分布において、その重量比 (  $\frac{ST}{MMA}$  ) の平均値の 0.75 ~ 1.2 倍の範囲内に、アセトン可溶性樹脂成分の 80 重量%以上の部分が含まれる請求項 1 記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項 3】ゴム質重合体の屈折率とアセトン可溶性樹脂成分の屈折率との差が 0.03 以内である請求項 1 又は 2 に記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項 4】ビニル系単量体混合物 (a) を共重合してなる共重合体 (A) 10 ~ 95 重量部、および、ゴム質重合体 (b) の存在下にビニル系単量体混合物 (c) をグラフト重合してなるゴム質含有グラフト共重合体 (B) 90 ~ 5 重量部からなる請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項 5】ビニル系単量体混合物 (a) および / またはビニル系単量体混合物 (c) の酸価が 0.01 mg KOH / g 未満である請求項 4 記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項 6】ビニル系単量体混合物 (a) 及びビニル系単量体混合物 (c) が、芳香族ビニル系単量体 (a 1) 5 ~ 70 重量%、不飽和カルボン酸アルキルエステル系単量体 (a 2) 30 ~ 95 重量%、シアン化ビニル系単量体 (a 3) 0 ~ 50 重量%およびこれらと

共重合可能な他の単量体 (a 4) 0 ~ 50 重量% からなり、かつ、不飽和カルボン酸系単量体 (但し不飽和カルボン酸アルキルエステル系単量体 (a 2) を除く) (a 5) を実質的に含有しない単量体混合物である請求項 4 または 5 記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物。

【請求項 7】共重合体 (A) とゴム質含有グラフト共重合体 (B) とを熔融混合することにより請求項 4 ~ 6 のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物を製造する方法において、共重合体 (A) との混合時に、ゴム質含有グラフト共重合体 (B) が乳化剤を 0.1 ~ 5 重量% 含有することを特徴とするゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項 8】共重合体 (A) との混合時に、ゴム質含有グラフト共重合体 (B) の水分率が 0.1 重量% 以上、5 重量% 未満である請求項 7 記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項 9】ビニル系単量体混合物 (a) を連続塊状重合または連続溶液重合することにより共重合体 (A) を製造し、続いて熔融状態の共重合体 (A) に、ゴム質含有グラフト共重合体 (B) を添加し、熔融混合する方法によりゴム強化スチレン系樹脂組成物を連続的に製造する請求項 7 又は 8 記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項 10】ビニル系単量体混合物 (a) の重合に続いて脱モノマーを行うことにより共重合体 (A) を製造する工程における脱モノマー工程の途中もしくは脱モノマー工程の後、熔融状態の共重合体 (A) に、ゴム質含有グラフト共重合体 (B) を添加する請求項 9 記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項 11】ゴム質含有グラフト共重合体 (B) が添加される時の共重合体 (A) 中の残存モノマー量が 10 重量% 以下である請求項 7 ~ 10 のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項 12】共重合体 (A) に添加される時のゴム質含有グラフト共重合体 (B) が半熔融もしくは熔融状態である請求項 8 ~ 12 のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。

【請求項 13】共重合体 (A) とゴム質含有グラフト共重合体 (B) を混合し熔融混練する工程の途中で、水を、ゴム強化スチレン系透明樹脂組成物に対して 0.1 ~ 5 重量% の量添加する請求項 7 ~ 12 のいずれかに記載のゴム強化スチレン系透明樹脂組成物の製造方法。